

「教養」「大学」は何処へ向かうか

2004年4月27日(火)

時間	講義項目
< ケース・スタディ >	
10:00 ~ 11:00	〔東京理科大 基礎工学部〕全寮制に基づく全人的教養教育 ~基礎工学部1年次生、北海道長万部キャンパスでの1年間とその後~ 東京理科大学 渡辺 恒夫 1. 教養教育への視点 2. 全寮制教育の意義 3. 長万部における教養教育の狙い 4. 長万部における教養教育の展開 5. 教養教育の成果と将来展望 質疑応答
11:10 ~ 12:10	〔慶應義塾大 SFC〕問題発見解決型教育のすすめ ~クラスター誘導型カリキュラムの再編成/文・理の協調/教養・専門の融合~ 慶應義塾大学 熊坂 賢次 1. 半学半教の福澤精神 2. デジタルキャンパスの環境整備 3. AO入試 4. 研究プロジェクト中心のカリキュラム 5. 卒業制作展とSFC AWARD 質疑応答

昼 食

< 提 言 >	
13:10 ~ 14:10	大学文科系の存在意義と「学士」の“質”保証 ~基礎教養の在るべき姿と大学の“未来”~ 東京都立大学 南雲 智 1. 大学改革とは何か? その本質と方向を考える 2. 東京都立大学の改革 文理融合の教養教育を目指して 3. 大学での基礎教養とは 自己発見への旅立ち 4. 大学文科系の存在意義 知的欲求の活性化 質疑応答
14:20 ~ 15:20	独断的「教養」論 大学の崩壊と再生 ~現代日本における知的環境の中心と周縁~ 文化人類学者 山口 昌男 ・文化の比較 ・ホモ・ルーデンス 遊び ・19世紀における culture 教養と訳される ・DNA 遺伝子 質疑応答

15:30~17:00

< パネル・ディスカッション >

<p>“現代”とは、“教養”とは、“大学”とは、 ~パブリック・ソーシャル・プライベートをめぐる~</p> <p>司会 佐美 佑 / 高等教育計画経営研究所</p> <p>パネリスト キーワード</p> <p>久住 眞理 生きる“基” 「己を耕す」という概念/断片化した“知”の「統合」/ 人間総合科学大学 「学びたい時」が最適の“学齢期” 「個人の随意性」に応える新しい大学のカタチ</p> <p>庄司 洋子 教える力と伝える力/教養教育とは何か/ 立教大学 改革から探る教養の意味</p> <p>本橋 哲也 文学から文化へ? /コロニアルからポストコロニアルへ? / 東京都立大学 ペダゴジー(教育)からパフォーマンス(身体表現)へ?</p> <p>山口 昌男 ホモ・ルーデンス 遊び/19世紀における culture 教養と訳される / 文化人類学者 DNA 遺伝子</p> <p>山本 哲士 大学(研究)と企業(ビジネス)の非分離システム/サービス・財・ホスピタリティ / 文化科学高等研究院 文化資本/プライベートなものを消すソーシャル、生かすパブリック</p> <p style="text-align: right;">質疑応答</p>	
---	--